

報 廣
ま
つ
だ
い

松代中学校スタート

抱負よ花と 咲き香れ
希望よ雲とわきあがれ
理想よ高く風に鳴れ



四月五日、六つの学校を統合した松代中学校の入学式が挙行されました。次代を担うにふさわしい子供達を育ててゆきたいという望いをこめて建設された統合中学校には、一年生一一五名、二年生一〇六名、三年生一二三名の計三四四名の生徒が集い新しいスタートを切りました。新しい中学校は近代教育施設設備が整備され、大勢の教師の指導や友人の指戟を受けて教育効果が大いに向上するものと期待されます。また、屋内体育館、グラウンドも今秋の完成を目ざし着々と工事が進められています。

松代中学校々歌

作詩 小山直嗣
作曲 篠原正敏

一、ぶなの若葉におおわれて
光りかがよう わが郷土
ここに瞳もはればれと
学びの道を進みゆく
われらが松代中学の
抱負よ花と咲き香れ

二、清き自然の影宿し
永久に流れる洩海川
ここに豊かな夢浮かべ
真理の扉ひらきゆく
われらが松代中学の
希望よ雲とわきあがれ

三、古き文化の香を残す
松茸社叢のけだかさよ
ここに気魄もたくましく
平和な世界築きゆく
われらが松代中学の
理想よ高く風に鳴れ

昭和54年4月16日発行
第233号
新潟県松代町公民館
電話松代 7-2301番
印刷・松代印刷所

昭和54年度町の予算

一般会計予算は二十一億円

特別会計を合わせて

総額二十六億五、八九〇万円

三月八日から十日まで三日間にわたり松代町議会第一回定例会が開催され、昭和54年度予算が原案通り議決されました。

特別会計を含む総額は二十六億五、八九〇万円で前年度当初予算に比し六八七万円の減となりました

《予算の編成》

わが国経済は、円高による輸出数量の低落がみられたものの、公共投資の積極的な拡大等により、内需を中心とする景気回復の方向に進みつつあります。この状況を踏まえた昭和54年度の経済運営の基本は、物価の動向に留意しつつ景気の回復基調を一層確実なものとするにより、国民生活の安

定を図り我が国経済を均衡のとれた安定成長路線へ円滑に移行させることにあります。

当町もこのような観点から昭和54年度予算編成に当っては、国とほぼ同一の基調により景気の着実な回復にも資するため、引続き住民生活の基盤となる社会資本の整備に努めるとともに、一方巨額の財源不足が、地方債の増発と地方交付税原資の借入によりまかなわれているという地方財政の厳しい状況を直視し、一般行政経費の節減合理化等財源の重点的かつ、効果的な配分に徹底することを基本に置き、予算を編成しました。

一般会計《歳入》

- (1) 町税については、所得の伸びは、すべて計上しましたが、町民繁栄の指標ともなる町税が総予算額二十一億円に対して一億二、七〇〇万円余で、六・一％に過ぎず依然として低いのが現状です。
- (2) 地方交付税は、国の交付税会計の伸び悩みに加えて、中学校統合による学校数の減少で交付税が減額となるなど大幅な伸びが期待できないため、前年度比五・二四％増の予算構成比四〇・四％を見込みました。
- (3) 国・県の補助金、負担金については、これを事業に積極的に取り入れ、四億八、二六七万円

- (2) 前年度比十二％増を見込み、これが全額歳入できるような努力することになりました。
- (4) 町債は、後年度に裏付けのある過疎債・辺地債等を主に起債の有効利用に努めることにしました。

特別会計《歳入》

- (1) 国保会計では、物件費等消費的経費を極力抑制して医療費の支払いに当てることとし、54年度は住民負担の軽減を考慮して国保税を前年度並に据置くことにしました。
- (2) 水道会計では、建設の際借入れた、起債の元利償還金に伴い必要最少減の使用料の値上げを見込みました。

一般会計《歳出》

- (1) 物件費を前年度並に抑え、職員の効率的な運用により人件費を節減するなど消費的経費を抑制しその財源を投資的経費に投入して、多様化する町民の要望に出来る限り応えるべく配慮しました。
- (2) 統合中学校の体育館、屋外運動場を整備するなど長年に亘って建設を進めてきた統合中学校関係の諸施設の整備を完了することとしました。
- (3) 53年度の梅雨前線豪雨により発生した、六・二六水害については、生産に与える影響・民生の安定等を考慮して、当初の三年計画を一年繰上げて本年度中にはほぼ全部の復旧を完了させることとし財源については、55年度に歳入が見込まれる国・県補助金を一時積立金よりくり入れ、肩がわりさせて実施することとしました。
- (4) 国の補助事業として登場した基礎集落圏防雪体制整備事業を導入して役場庁舎裏の敷地に除雪管理棟並に除雪用機械・町民

(次頁へ続く)

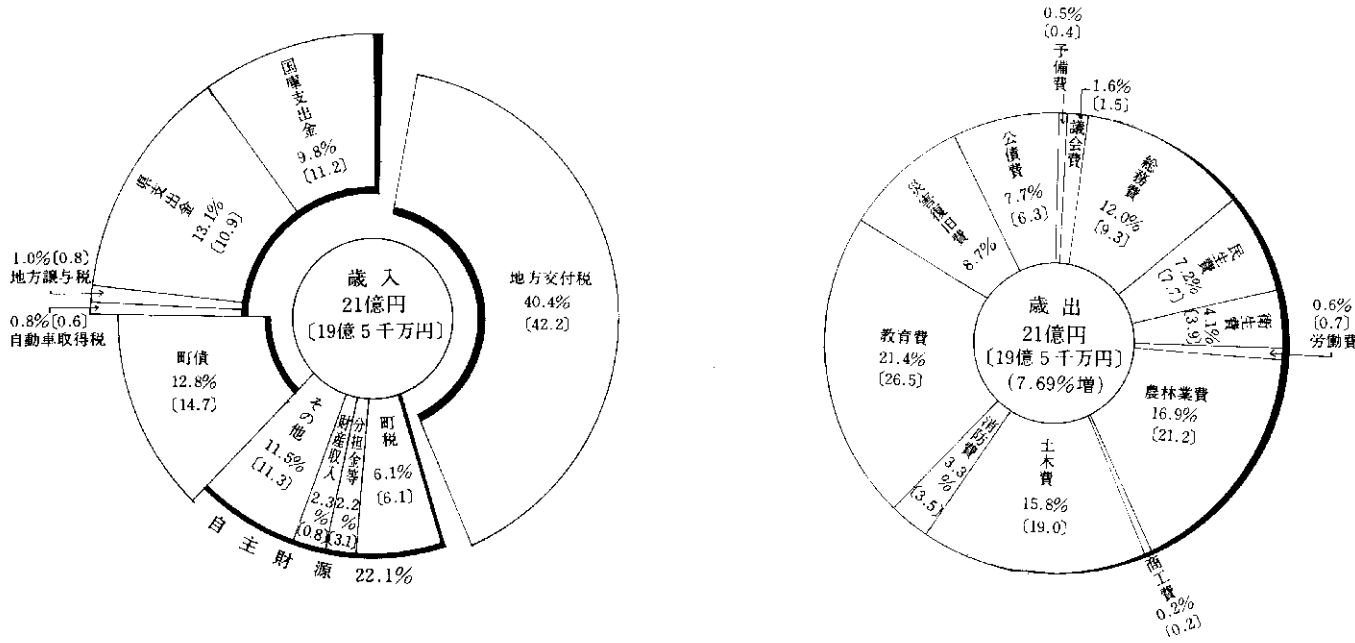
昭和54年度松代町会計別予算総括表

(単位：千円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	増減率%	
一般会計	2,100,000	1,950,000	150,000	7.69	
国民健康保険特別会計	4,346,200	4,193,338	152,822	3.64	
内訳	事業勘定	3,876,600	3,781,168	94,322	2.49
	診療勘定	470,200	411,700	58,500	14.21
簡易水道事業特別会計	77,344	314,200	△236,856	△75.38	
農業共済事業特別会計	46,896	44,045	2,851	6.47	
総計	2,658,860	2,727,583	△68,723	△2.52	

昭和54年度松代町一般会計歳入歳出予算財政図表

1. 予算性質別割合



(5) 当町の基幹産業である農林業の基盤整備に重点を置き土地に対する労働力並に生産性を高めるため、圃場整備を中心に、農林道など基盤整備を引続き54年度も推進することとし、新たに水稲病害虫対策を実施します。

(6) 国鉄北越北線松代駅予定地附近の線路敷工事完了に伴う、駅前道路整備と土捨場の農地復旧を完了するよう措置しました。

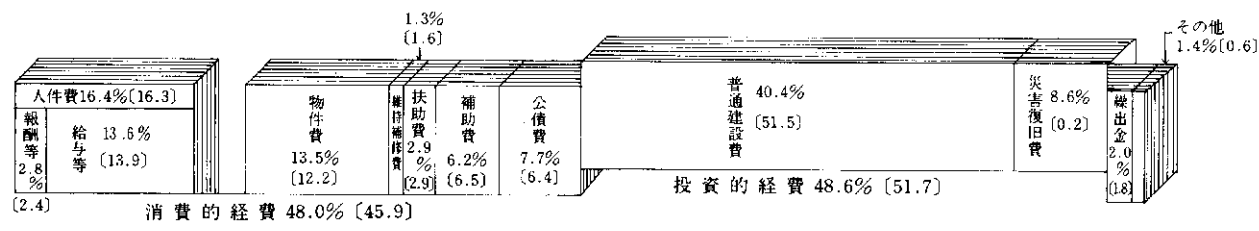
(7) 地域社会の理解と連帯に支え

(8) 成人病・母子保健・婦人の貧血・食生活の改善など町民の健康の保持増進を図り、且つ、集落内排水施設の整備・ゴミ処理・し尿処理等環境の浄化整備の促進を計画しました。

(9) 国道二五三号線・松代十日町間の今冬期無雪化の実現、新潟

られた、地域ぐるみの福祉の実現に基本をおき、実践的諸団体の活動強化を図るほか老人福祉・身障福祉・母子福祉・児童福祉・低所得者対策等きまこまかく実施するとともに上越地域の市町村と提携してミニニコニー・救護施設の建設に努力します。

2. 予算の中に占める主要経費の割合



特別会計《歳出》

(1) 国保会計では、町直営診療所の55年度改築を予定して、その設計費を見込みました。

(2) 農業共済事業会計では、水稲の病害虫防除を徹底するため、背負動力散布機六五台の購入を計画しました。

地方方法務局出張所統合庁舎の建設、県立高校特別教室棟改築の完工、工場誘致、大学施設誘致、国道、県道、鉄道など当町に密接な関係をもつ事業が円滑に運ぶよう一層強力な協力体制を図ります。

(3)

主要経費関係予算

(建設費の事業を除く)

△総務費関係▽
 行政事務委託料 五、一六万円
 山平中学校隣接地買収 四、〇〇万円
 冬期集落保安要員報酬 六一、二万円
 クローラー、雪上車運転手賃金 二九、八万円
 管理棟建設工事費 四、五〇〇万円

△民生費関係▽
 老人健康診査委託料 一七、六万円
 児童手当 一、三八二万円
 老人クラブ活動費助成金 二〇、四万円
 老人医療費扶助費 三、九六〇万円
 ミニコロニー設立・救護施設負担金 二四、二万円
 重度心身障害医療費扶助費 二九、五万円

△衛生費関係▽
 予防接種費等 三一〇万円
 成人病等検診委託料 六三、二万円
 ごみ処理費 一、一七四万円

△労働費関係▽
 母子ミルク・医療費扶助費 五三、九万円
 尿処理費 一八、六万円
 帰省バス借上料 五、五三万円
 出稼組合補助金 六〇万円
 △農林業費関係▽
 農業振興補助金 二九、八万円
 畜産貸付牛購入 五、四〇万円
 畜産業費補助金 八、六万円
 農地費 三、八二万円
 団地営圃場整備工事費 一〇、八五〇万円
 集落開発センター建設工事費 一、四八四万円
 林業振興委託 九、三一万円
 林道田沢・下山線工事費 七、一七六万円
 △土木費関係▽
 道路改良改修舗装等工事費 一、三五五万円
 駅前整備事業工事費 五、三〇〇万円
 建設機械購入費 二、一〇〇万円
 臨時運転手賃金 七、四一〇万円
 除雪機械借上料 一、二〇〇万円
 △消防費関係▽
 上越地域消防事務組合負担金 四、四三七万円
 消防団員等報酬 四、八六六万円

△簡易水道事業特別会計▽
 一般管理費 二、八四五万円
 災害配水管復旧工事費 一、三九万円
 △農業共済事業特別会計▽
 農作物共済勘定 一、八八二万円
 蚕繭共済勘定 二、六六万円
 家畜共済勘定 三、五一一万円
 事務勘定 一、四三〇万円

△国民健康保険特別会計▽
 療養給付費 三億七、一四四万円
 高額療養費 二、六三六万円
 助産・葬祭費 三、六五五万円
 直診勘定繰出金 一、一六六万円
 診療施設改築設計委託料 三、二〇万円
 △災害復旧費関係▽
 昭和53年度災害復旧工事費 五、六一四万円
 農地災害復旧工事請負費 一、七五〇万円

△教育費関係▽
 退職報償組合負担金 五、九八八万円
 校外体育遠征費補助 一、〇〇万円
 町育英事業奨学金 二、一六六万円
 学校管理賃金 一、三七六六万円
 生徒遠距離通学費補助金 九、〇〇万円

昭和53年度起債別会計予算総括表

(単位：千円)

課名	款別	事業名	事業内容	事業費	財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	起債	その他		
総務課	総務費	基礎築造消防事業	除雪管理センター建設	32,100		23,600	7,300	1,200		
		火場整備事業	排水溝・取付道修繕 上留ブロック積	15,000			10,000	5,000		
産業課	農業費	畜産業費	貸付牛購入費20頭	5,400		1,778		200	3,422	
		農地費	町単農道補助2線	10,000				10,000		
			町単圃場補助20件	7,000				7,000		
			農免農道1車2地金3線	16,000			15,200	800		
		団地営圃場整備	圃場整備	123,000	70,960	20,000	28,275	4,165		
			病弱児センター建設	15,812		3,000	10,000	2,812		
		特産事業	生活改善センター建設 (畜水)	14,342		8,549	4,500	1,293		
			百苜施設建設	13,650		11,700		1,950		
			乾燥機購入2台	11,228		967		1,611		
		林業費	林業振興	町行造林5ha	4,391				2,048	2,343
				町行造林自給地5ha	3,619				720	2,899
			林道整備	公園造林保育	1,300				1,300	
				開設 山沢・下山線	52,200		40,000	9,500	2,700	
				舗装 下山・海老線	15,500		8,470	5,700	1,330	
		建設課	土木費	改良 下山・海老線	10,300		6,000	3,800	500	
町道改良工事11線	72,180					54,000	18,180			
町道舗装事業7線	32,000					24,000	8,000			
駅前整備事業	62,080					16,000	20,000	26,080		
町一帯負担金	15,000						15,000			
高車補助道路改良	21,150			14,000		6,300	850			
総務課	消防費	建設機械購入	ロータリー車購入	21,000	14,000		5,000	2,000		
		消防施設整備事業	小型動力ポンプ積載車	2,700	1,312		1,000	388		
教育委員会	教育費	中学校総合事業	体育館建設	188,900	54,303		26,800	100,000	7,797	
			校庭・校地等整備	40,700			38,400	2,300		
			スクールバス購入	5,300	2,000		2,900	400		
			通学費補助	9,000	3,409			5,600		
		給食補助金等	小学校	10,906				10,906		
			中学校	1,962				1,962		
			公民館費	8,000				8,000		
産業課	災害復旧費	昭和53年6.26豪雨災害復旧	公共土木施設災害	60,108	40,005		17,900	2,203		
		農林業施設災害	119,600		63,543	1,000	2,880	52,177		
社会課	特別会計	内科診療所改築	設計委託料	3,200			3,200			
		水稲病害虫防除	背動散粉機購入	4,000			4,000			
合計				1,029,144	129,020	238,567	269,300	172,923	219,334	

町議会第一回定例会

去る三月八日から十日まで三日間にわたり、町議会第一回定例会が開催され、昭和54年度予算を含む27件の議案が付議・議決されました。議決された主な内容は次のとおりです。

◇53年度一般会計補正予算（第八号）について

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ二一、七九六千円減額され総額がそれぞれ二一億七、〇四五万六千円となりました。

『歳入』主なもの
 国庫補助金一、一六四万円・財産収入一、〇五七万円・町債一、五九四万円・国庫負担金二四七万円を増額。

『歳出』主なもの
 県補助金一、八二八万円・繰越金四、〇〇〇万円・負担金五七五万円を減額。

『歳出』主なもの
 総務費五、四二五万円・民生費七十四万円・教育費一八八万円・公債費五一万円を増額
 衛生費三七二万円・農林業費四、三四三万円・土木費三、一五五万円を減額。

◇53年度国保特別会計補正予算（第二号）について

既定の事業勘定歳入歳出予算の総額にそれぞれ一八、六二四千円を減額し、総額をそれぞれ三六二、五五三千元としました。

歳入の主な減額は、一部負担金三六三万円・国庫支出金一、二九八万円・繰入金二二一萬円で歳出では、療養給付費一、八二四万円・予備費二四八万円減額されました。診療施設勘定では、歳入歳出の総額にそれぞれ三、五四六千円を追加され、総額がそれぞれ四四、七六六千円となりました。

◇53年度簡易水道事業特別会計補正予算（第五号）について

既定の歳入歳出にそれぞれ二、

〇〇〇千円の減額し、総額それぞれ二八〇、七九四千円としました。

◇松代町特別職の職員で非常勤のもの等の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正について

54年4月1日から通用されるもので、監査委員、農業委員、教育委員など三九の非常勤特別職の報酬がおおむね6%を目標に引き上げられました。

◇松代町水道条例の一部を改正する条例について

水道料金が次のように改正されました。

一般用（10立方メートル）一、七五〇円
 営業用（20立方メートル）二、九五〇円
 旅館用（30立方メートル）四、〇五〇円
 官庁用（40立方メートル）五、〇〇〇円
 に増額されました。

◇松代町農業共済事業の賦課額及び賦課単価の決定について

54年度の賦課額及び賦課単価を次のように改められました。
 一、事務費賦課額一、〇九七千円
 二、賦課単価

- (1) 水稲共済割10a当たり一〇〇円
- (2) 蚕繭共済割1箱当たり 五〇円
- (3) 家畜共済割1頭当たり
 (大)三五〇円(小)一〇〇円
- (4) 均等割（一戸当たり）一〇〇円

◇助役・収入役の選任につき同意を求めることについて

助役には鈴木益蔵氏
 収入役には柳公治氏
 の両氏が選任されました。

◇町道の認定について

小池字岩平を起点に小池字行堂ノ外を終点とする小池線（総延長四四四・〇m・中員四m）を町道に認定しました。

◇松代町農業共済事業損害評価会委員の委嘱について

損害評価会委員に次の方々が委嘱されました。

清水↓片桐良夫・太平↓富沢庚・小屋丸↓宮沢富次・犬伏↓小島丑蔵・儀明↓小塚欣一・勘平↓高橋利行・室野↓米持員男・松代↓関谷常蔵・室野↓五十嵐一郎・池尻↓室岡順一・室野↓佐藤栄市

戸籍の窓口から

三月受付分（受付順）

おたんじょう
おめでどう



横尾美穂 父武雄 長女 峠 最の上

市川ゆかり 父俊勝 長女 松代作えん

柳 美晴 父忠司 長女 芋ノ島 中

山本和子 父嘉昭 長女 犬伏 新町

中村美沙恵 父松男 二女 田代まつば

おくやみ
(死亡)



高野 レイ 七四才 松代 高木屋

高橋 寅治 七六才 松代 林屋

山岸 長松 八五才 寺田 松見屋

石澤 キシ 八四才 海老半左エ門

佐藤 関松 七八才 儀明 五郎善

秋山 タツ 七九才 清水杉之久保

柳 トイ 七六才 松代 和泉舎

富澤 太郎 七〇才 松代 新田大工

高橋 吉定 八三才 田沢 新宅

小松 正八 五九才 室野 こまつ

堀川 シヅイ 五三才 奈良立彦四郎

小塚 モト 八四才 蓬平吉左エ門

4月1日現在	
世帯数	1,920(-12)
人口男	3,714(-40)
人口女	3,742(-59)
計	7,456(-99)
出生	5
死亡	12
転入	13
転出	105
増計	18
減計	117

町の教職員異動

▲新しく松代町に

来られた先生

(転入・新採用)

松代小学校 以下()は旧任教

仙田幸蔵 本校(頸城村大瀧小)

樋口邦幸 本校事務職員(松之

山町松之山中)

町田庄司 菅刈分(糸魚川市糸

魚川小)

大田 敏 小屋丸分 新採用

細金孝至 下山分(能生町南能

生小)

中島憲一 下山分 新採用

清水小学校

安田金一 (能生町能生小)

清水栄子 (吉川町泉谷小)

和田千賀子 養教

孟地小学校

西潟 弘 本校(三条市保内小)

石塚正春 海老分(青海町田沢

小)

北山小学校

藤田 均 本校 指導 事務員

(栃尾市、市教委)

横山かおる 本校(糸魚川市北

西海小)

蒲生小学校

笹川幸夫 本校(上越市直江津

南小)

竹内可江子 本校(三条市四日町小)

峠小学校

和田 勝 (越路町岩塚小)

八木文昌 (安塚町須川小)

佐藤正和 新採用

桐山小学校

荒井東一郎 (柏崎市第一中)

南雲敏行 新採用

茂原幸子 (下田村長沢小)

北峰義文 新採用

儀明小学校

梅沢 勤 (上越市南本町小)

清水美邦 (峠小)

川瀬一夫 (大潟町大潟町小)

筋平小学校

大原昇治 (新井市矢代小)

萩野亮一 (柏崎市柏崎小)

中沢利明 (上越市大手町小)

蓬平小学校

古沢 勝 (吉川町源中)

市川寛永 (安塚町須川小)

松代中学校

村山悦夫 (津南町津南中)

竹内 実 (上越市城西中)

古海 勇 (新井市新井中)

折笠正典 (牧村牧小)

▲勤務する学校が

変わった先生

(配置替え)

引間久美子 (孟地小↓孟地小

滝沢分校)

赤川四郎 (奴奈川中↓蒲生小)

高沢哲治 (松代中↓室野小)

清水美邦 (峠小↓儀明小)

▲この人事異動で他の市町

村へ転出された先生

松代小学校 以下()内は松代町

在任校↓転任先校

市川弘幸 (本校↓上越市大手

町小)

齊藤国平 (本校↓松之山町松

之山小)

佐藤由子 (本校↓上越市高士

小)

佐藤幸治 (本校↓松之山町松

之山中)

相羽信良 (菅刈分↓能生町南

能生小)

小松 隆 (下山分↓上越市高

田西小)

小松はる子 (下山分↓大潟町

大潟町小)

清水小学校 保坂和彦 (上越市春日新田小)

大塚きよえ (能生町中能生小)

孟地小学校 小倉敬一 (本校↓上越市国府

小)

北山小学校 林 鉄雄 校長(小千谷市片貝

中)

小林泰子 (糸魚川市糸魚川小)

飯塚不二男 校長(上越教育事

務所管理主事へ)

清水昌治 教頭(牧村高尾小)

富沢清子 (本校↓中郷村中郷

小)

室野小学校 井上 功 (松之山町松之山小

黒倉分)

牧田一美 事務員(松之山町浦

田小)

峠小学校 新井 洋 教頭(上越市南本町

小)

桐山小学校 新井輝夫 校長(上越教育事務

所社教主事へ)

高沢誠一 (新井市新井小)

小林和子 (牧村原小)

筋平小学校

田中克哉 (能生町礎部小)

松代中学校 古川正治 (中郷村中郷中へ)

五十嵐静夫 (三島町三島中へ)

清水秋男 (上越市直江津中へ)

水島月焦 (糸魚川市糸魚川中

篠宮博史 (上越市八千浦中へ)

清水中学校 小堺陽七郎 教頭(妙高村豊葦

中へ)

関谷桂二 (高柳町石黒中へ)

堀 秀泉 (妙高村豊葦中へ)

渡辺修一 (糸魚川市糸魚川二

中へ)

孟地中学校 寺沢八一 教頭(名立町名立中

へ)

俵山晴雄 (十日町市十日町中

へ)

尾身昌子 (川西町川西中へ)

泰 和子 (能生町能生中へ)

山平中学校 稲葉 努 校長(小国町下小国

小へ)

山崎 肇 (大島村大島中へ)

小池豊一 (十日町市真田中へ)

渡辺道子 (糸魚川市糸魚川中

へ)

上野実英 (柿崎町柿崎小へ)

奴奈川中学校 大口昭治 (上越教育事務所社

教主事へ)

市川貫一 (松之山中へ)

石口 実 (頸城村大瀧中へ)

宮沢静子 (松之山中へ)

竹内省五 (上越市城南中へ)

桐山中学校 寺島 一 教頭(小千谷市東山

中へ)

(次頁へ続く)

牧野昭司 (柏崎市北条中へ)
 渡辺治彦 (上越市直江津中へ)
 望月博明 (上越市城南中へ)
 河野 裕 (栃尾市下塩谷中へ)

▲退職された先生

孟地小海老分校
 小川純雄
 蒲生小寺田分校
 山岸フジノ
 室野小学校
 教頭 古川幸雄
 松代中学校
 小野塚直栄

松代高校教職員異動

◎転入・新採用

伊与部芳夫 校長 新潟工業高校より
 佐藤茂辰 有恒高校より
 加藤 弘 新採用(東京理科大)
 難波敦子 新採用(信州大学)
 笠井 泉 新採用(新潟大学)
 徳間チツ子 新採用(東洋大学)
 渡辺正輝 事務長 能生水産高校より

◎転出・退職

熊倉康平 栃尾高校へ
 渡辺弘美 三条東高校へ
 藤田雅子 小千谷西高校へ
 本間昭子 退職
 浅野 隆 高田高校へ
 青木茂則 村上高校へ
 笹川仁一 安塚高校事務長へ
 高橋 一 高田中央病院へ

町役場職員人事異動

4月1日付で町役場職員の人事異動が行なわれましたので、その移動をお知らせいたします。

新 所 属	氏 名	旧 所 属
社会課 長	関谷 昭平	税 務 課 長
税 務 課 長	菅井 清作	収入役室・会計係長
収入役室 会計係長	高橋 藤松	税務課固定資産税係長
総務課 議会運営書記	佐藤 信一	総務課・庶務係
総 務 課	小堺 月子	社会課 職業年金係兼務
総務課 庶務係	室岡 徹	税務課
総務課 運転手	石口 松男	松代小学校用務員
産業課 共済係	柳 善雄	教育委員会
建設課 土木係	関谷 英市郎	産業課 共済係
教育委員会	万羽 美栄	建設課 土木係
教育委員会 公民館	市川 英世	総務課 運転手
税務課 諸税係主任	鈴木 太一郎	総務課 議会運営書記
社会課 保健衛生係	西方 慶子	総 務 課
社会課 職業年金係兼務	柳 保子	教育委員会
蒲生保育園 保母	柳 ふじえ	社会課 保健衛生係
松代保育園 保母	柳 みね子	蒲生保育園 保母
室野保育園 給食婦	若月 美津江	松代保育園 給食婦
松代保育園 給食婦	佐藤 好子	室野保育園 給食婦
松代中学校主任用務員	鈴木 重宏	松代中学校用務員
峠小学校用務員	村山 盛義	奴余川中学校用務員
蒲生小学校用務員	山岸 幸雄	山平中学校用務員
松代小学校用務員	柳 早苗	蒲生小学校用務員

成人式

と き 5 月 10 日
 と ころ 総合センター

成人になられたみなさん、おめでとうございます。

成人式は五月十日(木曜日)午前十時から町総合センターで挙式の予定です。

成人該当の皆さまにはご案内を差上げますが、次のとおりで調査した名簿にお名前があるか確かめてください。無いときは公民館に(電話七二二三〇一)連絡ください。該当される方は次の期間に生まれた方で松代町に居住されている人です。また町外に居住されている人でも希望されれば出席できますのでご連絡して下さい。

該当者

昭和33年4月2日から昭和34年4月1日まで
 に生まれた方

松代↓南雲仁・平沢千秋・樋口亮子・柳正利・相沢一行・関谷佐代子・関谷則雄・品田靖・関谷靖・樋口秀子・樋口美枝子・富沢かなめ・関谷孝一・関谷馨・五十嵐千恵子・柳裕子

菅刈↓関谷栄治
 田沢↓市川幹男・市川誠二
 池尻↓室岡俊之
 千年↓西方久美子・高橋祥郎・柳信夫

会沢↓五十嵐由美子・小野島富士子・佐藤さとみ・萬羽吉蔵
 清水↓秋山利津子・片桐悟・秋山玉美
 蓬平↓若井まゆみ・若井康夫・小堺吉清・小堺和久・小堺久雄

東山↓山岸ちづ子

犬伏↓柳茂・小島弘子・柳美智子
 山本美千代・小嶋満
 滝沢↓佐藤幸栄
 芋ノ島↓柳久

田野倉↓斉藤孝
 田代↓小林秋雄・中村保
 筋平↓高橋和範
 室野↓齊木美喜恵・佐藤竹二・若山淳・佐藤真理子・村山佐恵子

小荒戸↓高橋美智子
 池之畑↓市川利一
 桐山↓小山勝義
 仙納↓室岡富士雄
 蒲生↓若山正弘・馬場澄江・小堺絹代

奈良立↓堀川昭男
 竹所↓五十嵐正利
 峠↓牧田由紀江・牧田美子・横尾信子

木和田原↓佐藤政人
 諏訪峠↓桜沢美智子
 孟地↓若月洋子

元気で長生き

～ 食生活改善推進員活動より ～

あなたの年金額 こうして計算

国民年金の加入者が老令年金を受けられるのは、

◎六十才までに保険料を納めた期間と免除を受けた期間とが合せて二十五年以上あることが原則になっています。しかし、国民年金がスタートしたのは昭和三十六年四月でしたから、その当時、加入者の中には「六十才までに二十五年間保険料を納める」という条件を満たせない人がいました。そこで昭和五年四月一日以前に生まれた人には、その人の年令に応じて、「二十五年の期間」を「十年から二十四年に」に短かくして、年金が受けられるようにしてあります。ところが、保険料を納めた期間が短いと、別表の計算式だけではどうしても年金額はかなり低くなってしまいます。このため、これらの人には「定額年金」に「特別加算」をつけて二十五年納付の標準的な年金額に近づけるよう配慮されています。また国民年金は物価の上がり下がりに応じて、年金額がスライドする仕組みになっていますので年金額が目減することはありません。

老齢年金の計算式は……

①定額年金

$$\{ (1,300 \text{円} \times \text{保険料納付月数}) + (1,300 \text{円} \times \text{保険料免除月数} \times \frac{1}{3}) \} \times 1.167$$
 ※1.167は昭和50年度に対する昭和52年度の全国消費者物価指数の上昇率です。
 ②特別加算

$$\{ 500 \text{円} \times (300 - \text{国民年金加入月数}) \times \frac{1}{2} + \frac{\text{保険料納付月数} + \text{保険料免除月数} \times \frac{1}{2}}{\text{国民年金加入月数}} \} \times 1.167$$
 ※昭和5年4月1日以前に生まれた人で、被保険者期間が25年にならない場合。

(グラフ1)

1日にとった食品の数(681人)

種類	人数
20種未満	439人
20～24	193人
25～30	47人
35～39	2人

(グラフ2)

6つの基礎食品摂取量

群	割合(%)
1群 緑や黄の色のこい野菜	49%
2群 その他の野菜、果物	97.4%
3群 肉・魚・卵・とうふ	92%
4群 米・いも・めん類	100%
5群 乳製品・海草・小魚	50%
6群 バター・油脂類	57.8%

表1. 測定器をつかった味ソ汁(塩分調査)

100cc中の塩分量	件数
0.7g未満	3
0.7～0.79	4
0.8～0.89	2
0.9～0.99	8
1～1.09	12
1.1～1.19	20
1.2～1.29	24
1.3～1.39	37
1.4～1.49	41
1.5以上	181
計	332

一昨年に続き昨年も大勢の方のご協力をいただき、八月から十月にかけて食事調査を実施させていただきました。昨年は食事調査のほか一日に食べた食品の数と、味ソ汁の塩分テストをさせていただきました。昨年の食事調査は「元気で長生き」推進運動の一環として県下一斉に実施したものでございます。対象者も循環検診で血圧の高い人、貧血の人をという事でこれらの方々のご家庭を主に実施させていただきました。食品の数では私達の予想通り食品の数が少ないことがわかりました。忙しい時間の中ですが一日の中で一番大切といわれる朝食にひと工夫していただきたいと思えます。味ソ汁は最近はいと塩とか、麴を多く入れるとかで、昔にくらべるとうす味に成っている

昨年も感じた事は、緑にかこまれた良い環境の中に住みながら緑や黄のこい野菜の取り方の少ない事でした。工夫しだいで解消出来るのではないかと思います。寿命のある限り元気で生き続ける為に塩分を少なくバランスの取れた食事をするように心がけていただきたいと思えます。左の図も参考にござらん下さい。又、ご協力くださいまして大変ありがとうございます。紙面をおかりしてお礼を申し上げます。
 (松代町食生活改善推進協議会長)



保健衛生シリーズ

42

松代町では母子・成人保健に關して、54年度に次のような検診・学級・健康相談を計画しています。すすんで参加して下さい。

●母子保健

○新婚学級

53年8月から54年7月までに結婚された方を対象に8月に行ないます。内容は、

- ・ 明るい家庭生活
- ・ 妊娠の成り立ち
- ・ 結婚と健康、その他

○母親学級

妊娠中に前期・中期・後期の三回のコースで、初産と経産に別けて4月から12月まで毎月行ないます。

- ・ 妊娠の成立、生理
- ・ 妊娠中の生活、栄養
- ・ 妊婦体操、分娩、産褥、新生儿

○まご親学級

育児の担当は母親とは限られていませんし、特に農繁期はおじいさん、おばあさんにまかされている家庭も多いようです。そこでまごの世話をされている方に集まっていたいただき、栄養、発育、しつけについて一諸に考えてもらいたいと思います。7月と12月に予定しています。

○産後検診

産後2ヶ月に尿検査、血圧測定を行ない、産後の健康状態を調べ、又家族計画についてのお話など、二ヶ月児の健康相談とあわせて行ないます。

○二ヶ月児健康相談

産後検診とあわせて身体計測と健康相談を助産婦と保健婦によって4月から12月まで毎月行ないます。

○脱臼検診

三ヶ月児・四ヶ月児を対象に、先天性股関節脱臼の検診、身体計測、健康相談を行ないます。あわせて離乳食の話もあります。4月、

6月、8月、10月、12月に行ないます。

○乳児検診

生後六ヶ月から十二ヶ月までの乳児を対象に、医師の診察、身体計測、健康相談を行ないます。4月と10月に行ないます。

○一歳六ヶ月検診

一歳六ヶ月検診から三歳までの児を対象に、内科・歯科の診察、検尿、身体計測、健康相談を行ないます。4月と10月に行ないます。

○二歳児検診

二歳六ヶ月から三歳までの幼児を対象に、内科・歯科の診察、検尿、身体計測、健康相談を行ないます。4月と10月に行ないます。

○三歳児検診

三歳六ヶ月から四歳までの幼児を対象に、内科・歯科の診察、検尿、身体計測、健康相談を行ないます。4月と10月に行ないます。

○育児学級

乳児検診・一歳六ヶ月検診・二歳児検診・三歳児検診の後の検診の結果、発育、しつけ、むし歯について、皆で考えます。5月と11月に行ないます。

★新しい事業★

○妊産婦健康相談

マミルク支給時に、助産婦による健康相談を行ないます。なる

児童手当二期支給について

おくれて大変迷惑をおかけしました。二期児童手当を受給者の口座に振り込みましたので、お確かめ下さい。

べく本人が来て健康相談を受けて下さい。

○新生児訪問について

生後一ヶ月未満の新生児訪問を、助産婦・保健婦によって行ないます。

助産婦による訪問地区は、松代・千年・会沢・清水・桐山・蓬平・蒲生・室野です。

保健婦による訪問はそれ以外の地区です。助産婦による訪問指導は、県下全般で行なわれている事業ですので、気軽に相談して下さい。尚、町外で出産される方は、母子健康手帳についている出生連絡票を必ず送って下さい。

※ 乳児用ミルクについて

今まで、生後三ヶ月から生後十二ヶ月まで乳児用ミルクを支給していましたが、母乳栄養が見直され母乳栄養を推進するため、4月より中止することになりました。低所得者階層、発育の悪い乳児は従来通り支給します。

●成人保健

○出稼検診

出稼される方全員を対象に、6月11・12・13・14・15日に行ないます。

○循環器検診

四十歳から六十四歳までの方のうち、出稼者を除いた方を対象に、7月3・4・5・6日に行ないます。

○胃集団検診

原則として三十歳以上の方を対象に、8月6・7・8・9・10・11日に行ないます。

○婦人科検診

原則として、三十歳以上の方を対象に、8月22・23・24・27・28日に行ないます。

○貧血検査

二十歳から三十九歳までの女性を対象に行ないます。貧血検査、血圧測定、検尿、計測を行ないます。

○寄生虫卵検査

全住民を対象に行ないます。

○糖尿病教室

出稼検診・循環器検診で発見された糖尿病型・境界型の人を対象に行ないます。

秘密厳守・無料です

心配ごと相談

生活苦・家庭不和・児童問題・老人問題・その他心配されていることがありましたら相談下さい。

とき 毎週金曜日

午前九時から

十一時半まで

ところ 松代 少林寺

四月から次の方々を心配ごと相談員にお願いし、相談所を少林寺に変更して開設しています。

秘密は厳守無料です。どんなことでもかまいません、心配ごとを早く解消させ明るい生活をおくりましょう。

なお、四月・五月の相談所開設月日・担当相談員は次のとおりです。

4月・5月心配ごと相談開設日・担当相談員等

相談月日	担	当	相談所	
4月	6(金)	小山直治	佐藤秀雄	松代 少林寺
	13	宮沢甚吉	"	
	20	西潟福平	"	
	27	万羽卓司	"	
5月	4(金)	小山直治	佐藤秀雄	
	11	宮沢甚吉	"	
	18	西潟福平	"	
25	万羽卓司	"		

心配ごと相談員

住所	氏名	役職
松代	佐藤 秀雄	○人権擁護委員
	少林寺住職	○行政相談員
	電話 7-2602	○民事調定委員
蒲生	倉石 義乗	○保護司
	電話 7-2275	○少年補導員
小池	小山 直治	○民生児童委員
	電話 7-8253	
小屋丸	宮沢 甚吉	○民生児童委員
	電話 7-9725	
福島	西潟 福平	○保護司
	電話 8-2217	○老人福祉相談員
		○出稼相談員
		○農業転職者相談員
松代	万羽 卓司	○教育委員
	電話 7-9383	○老人福祉相談員
		○老人交通安全指導員

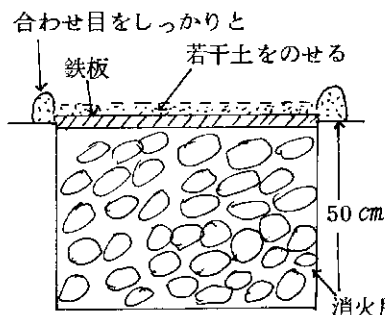


糶穀利用にする 簡単な炭焼紹介

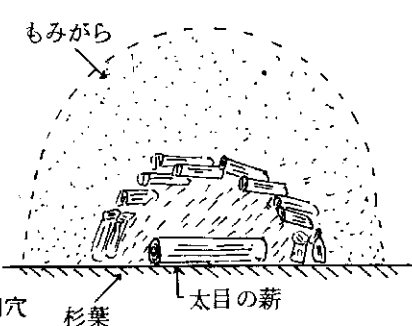
私のまだ若い時代に部落で研究発表致しましたので、御存知の方も相当おられる事と思いますが、消費も美德と謂われた時代も過ぎ、石油エネルギー節約を叫ばれる様になり、二・三年前なら世間に笑われる様な話ですが、私は毎年、収穫後、産品同様の糶穀を利用しておりますので紹介します。

- 「焼き方」
- 一、太いものは割る、春先に準備し乾かし、堅木程合理的です。
 - 二、糶穀多量(薪材料の約三倍位)なるべくぬらさない方がよい。
 - 三、杉葉一束(炊きつけ用)
 - 四、消火用の蓋(不用の廃品用のブリキ板二・三枚)
- 天気の良い早朝、家屋より離れて危険性のない場所(畑)でクイ

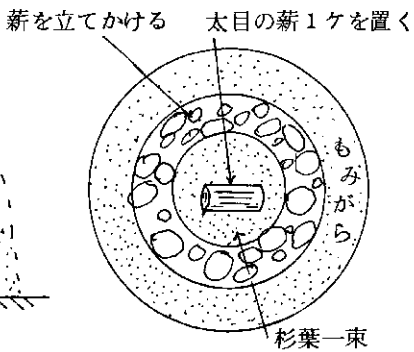
(消火用穴)



(正面図)



(断面図)



ソ(薪の太目のもの)一個を中心置き、杉葉一束位をこの上に置きこれを中心に薪を、図の様に立てかけて火を入れる。火が勢い良く全体に燃え移った頃を見て用意した糶穀をこれにかける。

一時は煙も見えない位厚目にかけて二〇/三〇分もすると煙が立ち初める。そんな所に穴があき火が吹き出る。春頃には廻りの地面から糶穀が灰になり初め、夕方頃には全部黒のタンタン灰と化した頃を見計って用意した穴の中に焼けた真赤な炭を手早く入れ鉄板のふたをして煙の出ない様にして置く。

翌朝鉄板が冷たくなったら袋につめ半日表てに置き、様子を見てから家に運ぶ。最初の人は量は少なめの方がよい。焼けた炭に水をかけない事が大切です。

(儀明 小塚 浩)
TEL 七―八四八七

“ありがとう”

旧山平中学生徒会の

みなさん 生徒会費

を 寄 附

山平中学校生徒会の皆さんが学校閉校に伴う生徒会解散に際し、生徒会費一万円を社会福祉に役立てていただきたいと福祉事務所を通じて寄附されました。

心あたたまる善意に紙面を通じてお礼申し上げます。

マラソン協会より

お知らせ

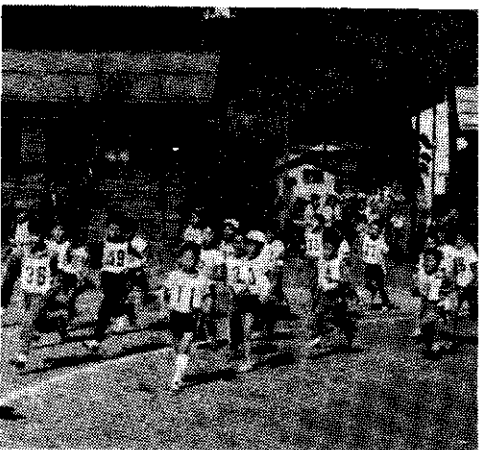
「ランニングは健康によい」これは当然のことです。もし、みなさんがランニングを始めたら、体も軽くなり、気分もさわやかになる事を必ず経験されるでしょう。ランニングは苦しいものではありません。だれでも楽しく出来るものなのです。

四月二十九日より今年の活動を始めますので是非御参加下さい。

△練習日V毎週日曜日

朝六時三十分より松代小学校に集合準備運動後三十分程度の軽いライニングをします。年齢・性別に関係なく自由に参加出来ますので「走ってみようかな」と思っておられる方は是非参加して「健康作り、ストレス解消に役立てて下さい。」

雨天の場合は中止です。



県教育委員会より 社会教育主事が派遣されました。

新潟県教育委員会より牧村出身の折笠正典先生を社会教育主事として町教育委員会に派遣していただきました。

(籍は松代中学校教諭ですが総合センターに常勤されます。)

派遣期間は三年間ですが、松代町の社会教育の推進を図るため、計画の企画、立案、関係諸団体、各種学習活動の育成指導にあたっていただくことになりました。

皆さんの団体や学級で助言、指導をしていただきたという希望がありましたら町総合センターに電話等でご連絡下さい。

(電話 七二二三〇一)



今年、国際児童年。

国連で、児童権利宣言が採択されてから、ちょうど二十年目にあたります。これを記念して「子供は民族の宝、世界の宝」という認識のもとに、子供たちの幸せについて皆で考えよう、という年なのです。この機会にわたしたちは子供たちの世界を直視し、ありのままの姿を理解するとともに、新しい親子関係のあり方を見いだしたいものです。

他人の子供もしかり



国際児童年事業推進会議副議長

茅 誠 司

西ドイツの話です。

公園のベンチで、お母さんが編み物をしている。そばで遊んでいた子供が、いつの間にか一人歩きをして、少し離れたところで、何かワルさをしたのでしよう。編みかけをわきに置いた母親は、ツカツカと子供のところを歩み寄ってひと言注意したあと、そばにいた年配の男性に「なぜ、しかってくれないのですか」と、強い口調でいったというのです。

わが子への

愛を世界の

どの子にも

これは、国際児童年のスローガンですが、わたしたちは自分の子も、よその子も、同じ「社会の一員」として接することのできる、分けへだてのない愛情を持ちたいものです。

わたしは、その手始めとして、「他人の子供も、自分の子供と同じようにしかり」ということを提唱したいのです。

子供は、自分の子であるとともに「社会の子」であり、わたしたちも、わが子の親であると同時に「社会の親」としての発想に立つとき、わたしたちは、他人の子供だからといって無関心でいられるはずがありません。

子供に対する親の愛は当然責任を伴います。子供たちが、社会の一員として立派に成長するよう、きちんとしたしつけをすることで。そのためにも、わたしたちはよその子をしかる「気心」を持つことから始めようではありませんか。

(総理府広報通信からの転載です。)



文芸

しづみ句会

三月六日
於室野克雪センター

雪やんで茶柱たてり旅立つ日
早春のきゅう舎は温し牛なけり
軒雀今朝より春の声で鳴く
ボケ咲いて今日より出勤すがすが
店頭の青菜目を引く二月尽
素大根肴にかじる二月尽
言い訳は聞かず叱らず大試験
峽の嶺ふれんばかりの春日かな
春の雪積もりもせずに降りしきる
涅槃会の尼僧静かにお茶を立て

静風

公明

紅茶

茶水

常仙

老農雑感

下山 古稀 老

今日も又嵐も吹けど雨もふれど
野良にといそぐ運命負へけり
豊穰に稔れば調整まぬがれず
稔らざれば生計に苦しむ
毎年に余米の処理に窮すと言う
飢えて殉ぜし軍人想う
貧しさは希うにあらずされどまた
豊満に育つ児らを見る

この村を去り還らざる家族のせ
黄昏せまる道貸車は往く

満ち足りしこの現し代にことほぎ
のかげにかくれて泣く人思ほゆ

いくばくの儲けあらむと人の言う
この牛飼いて生計にとなす

同輩に逝ける親しき老友ありて喫
いたくもなき菘くゆらす

飴かけて終り小雛へ雛あられ
手作りもあって小雛の五・六段
風邪の子が身を寄せてきし朝寝か
陽が差してなおゆっくりと春の雪

昌弘

かんじきの跡ひろい行く配達夫
夜更まで仕込みの話帰休杜氏

枯水

通勤の土手にふくらむ猫やなぎ
ささやかな母の手料理雛の宵

八千代

着ぶくれを一枚ぬいで雛句会
切り紙の雛人形や園児たち

きく代

啓ちつや四尺の雪に覆われて
春灯のまばらに見えし峠かな

淡水

退院も間近と告げらる牡丹雪
峯なりの鋭き影や冬の月

悠歩

腰痛む土工の愚知や寒もどる
川工事もどり寒波に阻まれし

六花

俳句

雪しまき

柳 茶水

不具の手にひしくせまる除寒かな
雪しまき山の湯宿に客とだえ
雪しまき心に拝む石地藏
まづしくも赤飯供え雛祭り
亡き母の手作り雛も飾りけり
鉢の桃今朝パッチリとつぼみ解く
妻たてば白髪のみだつ桃の花
小雨晴れ山おだやかに雪解露
笹の葉のさらさら音す雪解風
峽の嶺ふれんばかりの春日かな
春光や女土方は留守居妻
朝の雨はれて庭木の囲い解く
注射針集め看護婦針供養

暖冬の神の創作出来不出来
起こされて雪解を急ぐ浜海川

貞水

席題「雛祭」

甘酒の熱き香りや雛句会
亡き母の手作り雛も飾りけり
雛句会思わぬ白酒暖まり
雛壇のなけれど雛の祝いして
内裏雛のほかは貧しく作り雛
手を洗い雛壇飾るいとしき手
たずね行く家に娘の名の雛飾り
白酒の心づくしにぬくもりぬ
スキー客吐くが如くに越の駅
春雨の雫は老舗の戸をぬらす
米をとぐ音かき消して屋根雪崩

炳史

茶水

きく代

八千代

淡水

紅茶

貞水

蒲生句会

一 群馬の出稼ぎ先から

スコップを座にして昼餉毎日
飯場揺る赤城おろしという二月
温む水双手にうつし顔洗う
芽柳に縷々と雨ふる一日かな
こらえても気遣い出ずる咳一つ
満天星や想い出淡き人のあり

耕山

月日

泥水

面茶

常仙

俳句

春の日もや立つ中や淨き風船
春日傘アスファルト道一つ行く
野仏にだれが供えし香一本
四月早古巢たずねて燕きし
毘山の道山桜匂いけり